

平成 28 年度 審判講習会

4月6日 (日)
若林 体育館



相互審判相互運営を目指している仙台市ミニテニス協会は、新年度に向けての審判講習会を開催、9名の会員が参加熱心に受講活発な質疑応答があった。

午前中は、競技規則の解説、ゲームの勝敗サービス及びレシーブの方法と順序、審判員に対する講義権、審判員の任務及び守備範囲、ゲーム用語・ゲーム・ジャッジなど等阿部勝彦審判長の丁寧な説明があった。

続いて、丹野克之理事長から、団体戦記録記載方法について説明があった。対戦票への記入方法・記録表への記載の仕方など等の対戦票・記録表記載例に基づいて懇切丁寧

な説明があった。

当協会は、市民総体春季、夏季、スポ・レク、秋季、冬季の6大会を公式大会とし、1部～三部までの部制による年間成績での昇降格を採用し、計算は率で行っている。

午後は丹野克之理事長の指導でコート設営を行った写真左



特性得点板の接点具、簡単なネットの張り方等などに続いて主審・副審・線審の実技、公平性・正確性・大きな声動作等を行った。写真左



試合の主役はプレイヤー選手である、審判員は、競技規則に精通し、プレイヤーの障害となつてはいけない、視野を広げ適正な判定をと好評があった。

(仙台市 渡辺 勝利)

1部決勝 連坊A惜敗 仙台市民総体



仙台市民総合体

育大会「ミニテニス第

20回大会」は4月24日、仙台市体育館で54チーム約400人がエントリー熱戦を展開した。

選手宣誓ではTNB

チームの島貫真史選手写真左は「昨日、岩沼市



ハーフマラソン大会に参加、体はボロボロだがテッペン目指し頑張ります」と宣誓した。

写真上は1部決勝戦荒浜A対連坊A、1勝1敗でむかえた女子ダブルス戦、息詰まる攻防の展開は9対9となり、荒浜チームのスマッシュがネットにかかり相手コートに入りゲームセ

ット。惜敗した連坊、斎ひろ子 木村亜貴子の両選手は「あと一本が遠かった、今日は負けたが、自信も得ることができた」と口をそろえた。

2部優勝 ミラクルK

ミラクルK2-1連

坊B 優勝した山内崇史選手は「斎翔太選手高校1年の威力ある打球に苦戦したが、なんとか勝ててよかった」と語った。



写真上 右から富沢チームの齋藤昌義選手と連坊チーム西村英機選手の強力なスマッシュ。

3部優勝 遠見塚B

遠見塚B2-1TN

B・B 優勝した橋浦新一選手は「パートナーとのホーメーションがよかった」と汗を拭った。

1部優勝 荒浜A

荒浜A2-1連坊A

試合は予選からヒートアップ、フルセットにもつれる試合が続出。仲間たちの声援が飛交う中選手たちは、自分の力を100%発揮できるよう頑張っている姿が美しかった。

写真記録の記入をしている選手達。



(仙台市 渡辺 勝利)

春季大会 予選からヒートアップ。



桜チーム、八木玲江選手右と庄子順子選手は「日頃練習で身につけた技を遺憾なく発揮し正々堂々とプレーします」と宣誓した。

仙台市青葉体育館を会場に、平成28年5月5日、子供の日にもかかわらず多くの選手たちが参加、ミニテニス特有の技術の高い攻防に観衆を魅了した。

各部の優勝

1部 荒浜 A3-0
しろいし 佐藤幸芳選手は「卓越したスピードに加え広い視野から繰り出す多彩な攻撃に惨敗です」と悔しがった。

2部 やまがた F・A2-1
やまがた F・B 敗れた浦山秋子選手と長岡真知子選手は「強い相手に真つ向勝負ができた」と口をそろえた。

3部 遠見塚 B2-1
れもん 佐藤颯子選手「優勝にもう一步のところ、次狙います」と流れる汗を拭いた。



男子W戦、しろいしチームと強烈なスマッシュを打つJOYチーム。応援団も手に汗する卓越した攻防に、敵も味方も忘れて大声援が飛んでいた。（仙台市 渡辺 勝利）

実技講習会



仙台市スポーツ振興事業団の共催による（ミニテニス実技講習会）は平成28年5月28日、仙台市若林体育館で開催された。開会式では、仙台市スポーツ振興事業団若林体育館高橋浩二館長写真上は「繊細な変化をするミニテニスは簡単なようで奥の深い球技、ボールが軽いのでパワーが求められる、だから若者にも人気がある。今日はミニテニス特有の技術をしっかりと学び今後の大会に発揮できれば幸いです。…」と挨拶があった。

続いて六つのブロック編成と講師の紹介があった。

主講師を務めた丹野克之理事長から、グリップの握り方、自由に持っていていいが最初は薄めイースタングリップをマスターした方がいい、構え両足は肩幅（広すぎたり、棒立ちは良くない）ヒザを曲げて腰を落としたりラックスして構える。テイクバックが小さいと強いボールを打てない、体感をつかった上半身のひねりで強いボールを打とう。今日は実際にやってみせる、の反復講習を実施します等の説明があった。

6コート 六つの班に編成し、実技講習を行った。



テイクバックを大きく強いボールを打とうと心がける受講者



しっかりとボールをとらえる。



9:00～16:00まで
実りある講習会だった
(仙台市 渡辺 勝利)



高校生も参加した

さーこいと構える

第5回ミニテニス親善仙台大会（団体戦）

平成26年6月26日 会場：仙台市宮城野体育館



3・11東日本大震災復興元年を機に開催した第5回全国大会に多くの選手たちが集い、これまでミニテニスを通じて育まれた友情を架めた。

開会式では、仙台市スポーツ振興課文屋健課長、当協会木村勝好参加から歓迎のご挨拶をいただいた。

続いて、秋田県AKB松組チームの伊藤榮二選手左と伊藤幸子選手は「ミ



ニテニス仲間が集い日頃の力を出し合い、戦いながら仲間の絆をふかめ仲間の交流・親睦の輪が大きく広がる大会になるよう楽しんでプレーを。」の宣誓に会場は温かい拍手に包まれた。

始球式では、丹野克之理事長のサーブを文屋健課長強烈なスマッシュに

会場から、さすががスポーツ課課長と万雷の拍手。



大会は、A部門フリー、B部門6才以上の2部門の団体戦。1チーム3パート、(女子W・混合W・男子W)6ポイント2セットマッチで行った。

試合は予選からヒートアップ。卓越したスピードに加え広い視野から繰り出すミニテニス特有の多彩なレベルの高い攻防に、応援団からは幾度となく歓声が上がる。そんな雰囲気にもコート上では選手たちの汗と笑顔が飛び交っ

ていた。

写真 山形 原田恭志
選手の強力スマッシュ



B部門 優勝AKB星



組チーム。写真左から二人目 伊藤智子選手は「優勝嬉しいとても楽しかった」と弾ける笑顔。A部門優勝48(フォーティエイト) 予選から実力を発揮、決勝トーナメントでも流れを維持優勝杯を手にした。



今大会も多くの愛好者に参加いただき、プレーを通じ遠来の旧交を深めることができ博する親善大会であった。
(仙台市 渡辺 勝利)

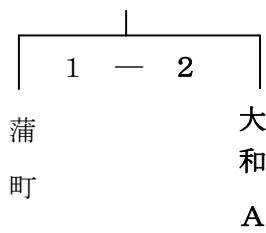
仙台市ミニテニス協会夏季大会は平成28年7月31日、仙台市青葉体育館で開催され307名の選手が熱戦を展開した。

開会式では、れもんチームの小島ひろみ選手写真左は「暑さにも負



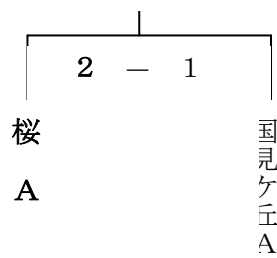
けず、日頃の練習の成果を發揮し、楽しいプレーを心がけ流した汗の補充に美味しくビールを飲めるよう頑張ります」の宣誓に会場から大きな拍手が飛び交った。試合は3部制7ポイント3セットマッチ、部毎上位1チームが頂点目指し熱戦を展開した。

1部 優勝
大和A



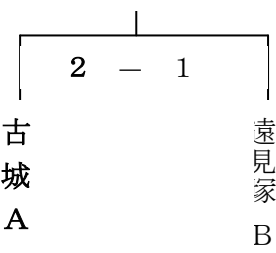
大和A チーム

2部 優勝
桜 A



桜A チーム

3部 優勝
古城A



古城A チーム

夏季大会

30度を超える連日の猛暑日、選手たちはこまめに水分補給しながら上位進出を目指していた。



M & L 大会

H28年8月21日(日)
仙台市宮城広瀬体育館



仙台市メンズ&レディースミニテニス大会に山形市・白石市からも愛好者が集いプレーを通じこれまで試合等で育んできた友情を更に深めた。この大会は、何チームなのかメンバーなど当日発表後各チームはリーダーを選び作戦を練る。試合は男子・女子毎6チームを編成、7ポイント3セットマッチの5試合を行った。

連日の猛暑日体育館内は最高35度を記録した。そんな中こまめに水分を補給しながらコート上では選手たちの汗と笑顔が飛び交っていた。暑い夏熱い戦いが終日繰り広げられた。
(仙台市 渡辺勝利)



第28回若林区民 ふるさとまつり スポ・レクフェスタ ミニテニス大会

若林区民まつりの一環としてのミニテニス大会は9月4日、仙台市若林体育館で開催された。開会式では、主催団体の若林区まちづくり協議会 早坂隆会長写真下は「創意と参加により、健康で潤いのある若林区を目指し、プレーを通じて更なる友情を・・・と挨拶があった。



対戦、強烈なサーブやスマッシュの手に汗する



相互運営 相互審判の当協会、朝8時、選手たちは一斉にコート設定に励んでいた。
大会は予選からフルセットにもつれる試合が続出、好プレーや珍プレーに応援団から温かい声援が飛び交っていた。
写真 大和A―荒町の

勝彦審判長と齋ひろ子



攻防は観客を魅了した。1部決勝
連坊A2―1荒浜B
1―1で迎えた男子ダブルス戦、連坊 木村拓紀選手の強烈なスマッシュが炸裂優勝を手中にした。
2部決勝
連坊B2―1桜A
連坊2部1部ダブル優勝
3部決勝
古城A2―1遠見塚B
接戦を制し古城A優勝した。
写真左 表彰式前の東の間、整列した選手たちの前で息の合った唄でおもてなしをする、阿部

競技委員長の2人



古城Aチーム

連坊Bチーム

連坊Aチーム

(仙台市 渡辺 勝利)

仙台市ミニテニス協会
秋季大会は平成28年
10月15日(土)、仙台市青
葉体育館で開催され熱
戦を展開した。

選手宣誓では、アルフ
アーチームの渡辺きみ
え選手と高野直子選
手は「私たち選手一同は、



対戦チームに敬意を払
い共に戦うチームメイ
トを信じ最後の一球ま
で精一杯プレーするこ
とを誓います」と宣誓。
試合は3部制7ポイン
ト3セットマッチ、部
毎上位1チームが頂点
目指し熱戦を展開した。

3部 仙台南初優勝

創部4年目で初制覇
した仙台南チーム、



仙台南2-1沖野、接戦
を制したママさん選手
たちは「今大会も対戦し
た相手は全て意気ごみ
を感じ強かった。最後ま
であきらめないでよか
った」と口をそろえた。
2部桜2-1やまが
たF・A接戦を制した
桜チーム、高山千代子選
手前列右は「周囲の応援



が最後まで走りきれた
原動力。次戦も頑張りま
す」と笑顔で語った。



の両選手は「若手選手た

1部 荒浜A2-1七
郷A 菅野儀仁、末永薫

ちはパワーやテクニッ
クなど着実に成長して
いる・・・」等と余裕の
コメント。
写真左 開会式で、阿

部勝彦審判長の審判時
の留意点について説明。



写真左 予選、連坊A
対ミニントAのミックス
戦、ミニテニス特有の技
術を駆使しての攻防は
応援団を魅了した。



当日のエントリィは
41チーム、戦いはとて
も激しく・ドラマあり・
ハプニングあり・笑いの
りで楽しい大会だった。
(仙台市 渡辺 勝利)

冬季大会

仙台市ミニテニス協会
H29,1/14 宮城野体育館

平成28年度冬季大会は1月14日年越し・仙台どんと祭の日に開催された。当日は、冬型の気圧配置となり、平年を下回る厳しい寒さとなったが、選手たちは、予選から寒さを吹っ飛ばす躍動的な攻防を展開していた。

年の挨拶と、選手たちの活躍協会の発展等のご挨拶があった。続いて



開会式では、右から渡辺勝利会長・野上忠志顧問・古山建造参与から新

の汗と笑顔が飛び交っており、試合を通して人同士の繋がりを深めて

いよう全力でプレーします」の宣誓に温かい拍手があった。試合は予選からヒートアップ。卓越したスピードに加え広い視野から繰り出すミニテニス特有の多彩なレベルの高い攻防に、応援団からは幾度となく歓声が上がった。そんな雰囲気にもコート上では選手たち



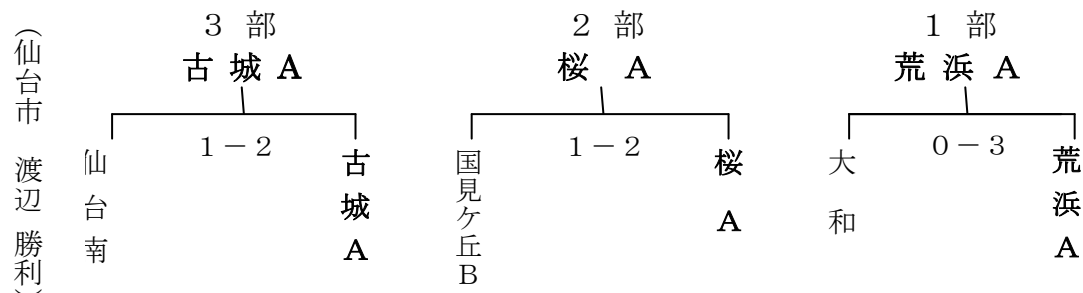
けやきチームの横田孝子選手は「日頃の練習の成果を発揮し怪我の無



協会スタッフ



いた。熱戦展開の国見ヶ丘―南小泉の攻防



29年度にむけて説明会



仙台市ミニテニス協会は2月12日、仙台市若林市民センターを会場に新年度に向けて説明会を行った。7協会33団体63名が出席、仙台市ミニテニス協会の運営「部制」による昇降格、会員登録、大会日程、大会要項、各協会の運営（区民スポーツ実施基準）など等詳しく説明があり、出席者はメモをとりながら聞き入っており、質問や意見など活発な質疑応答があった。3時間の説明会ご苦労さん出した。

16..30から恒例の新年会、来賓の祝辞に



山形 今野理事長
白石 平間会長

新年会には84人が参加され、和気あいあいの中19:30鈴木孝一副会長の閉会の言葉があった。

続いて山形市ミニテニス協会田中絃子会長は「仙台市ミニテニス協会の更なる発展と皆様の一層のご活躍を・・・」と乾杯があった。

各協会や団体の紹介やピーアールなど等盛り上がり、人同士のつながり（絆）を一層深めていた。